

マネジメントに役立つ エンゲージメントの 高め方が よくわかる本

今の時代のリーダーが身につけたい管理スキル

従業員の自主性・主体性が育つ
会社と従業員のつながりの作り方



- 働きやすさと働きがいを両立させるには
- 部下に寄り添う伴走型コーチになる方法
- 個人と会社のパーソナルパスを一致させるには
- SOMPOなど実際の企業の事例も収録

境 修 著

■**香和システム**

「エンゲージメント」なじみの薄い言葉かもしれません、わかりやすく言うと会社と社員の間の「つながり」のことです。

「部下のパフォーマンスを上げるにはどうしたらよいか?」というテーマは管理職共通の永遠の課題です。スバルタや熱血的な指導がNGだと分かっていてもどんな方針を取ったら良いのかというの管理職の永遠の課題とも言えます。

そのヒントになるのが「エンゲージメント」という考え方です。エンゲージメントを高めることができれば、部下は自然と仕事に熱意をもって取り組み、所属するチームや企業の利益になることを考えるようになり、ひいては組織を任せられるまでに成長してくれます。

そんな都合の良い方法があるのかと疑うかもしれません本書でひとつひとつ学んでいけばあなたの組織にも必ず活用できるはずです。

はじめに

序章 エンゲージメントって何?

- 1章 STEP1 【準備編】なぜ「エンゲージメント」を高める必要があるのか?
- 2章 STEP2 【準備編】伴走型コーチとしてのスキルを身につける
- 3章 STEP3 【実践編】組織のパーソナルパスをつくる
- 4章 STEP4 【実践編】個人のパーソナルパスをつくる
- 5章 STEP5 【実践編】1on1で組織と個人のパーソナルパスの一致点を見つける
- 6章 STEP6 【展開編】継続できるような仕組みをつくる
- 7章 具体的なケーススタディ
- 8章 こんなときどうする?あるあるトラブルシューティング
おわりに



詳しい情報はこちらをごらんください→